

エポキシ注入工法

アルファテック 300・330・340・370 (AT300・330・340・370)

アルファエポキシ注入工法は、1977年の設立以来、電力・鉄鋼・化学・石油・自動車などの産業分野において、ディーゼルエンジン・コンプレッサー・タービン・ポンプなどの大型回転機械装置の振動対策に、基礎コンクリートの亀裂や打継ぎの補修・補強に日本国内はもとより世界各地で2000件以上の工事実績を有します。また、土木、建築分野においては阪神淡路大震災で被災した道路橋や鉄道橋の補修をはじめ各種コンクリート構造物に実績の豊富な補修・補強工法です。

用途

- ディーゼルエンジン・発電装置・コンプレッサー・タービン・ブロー・ポンプ回転機械装置の基礎コンクリート亀裂や打継ぎの注入接着補修
- 機械装置のベースとグラウト・グラウトと基礎コンクリート・アンカーボルトと基礎コンクリートの注入接着補修
- 道路橋や鉄道橋の橋脚・桁・床版などのコンクリート構造物の亀裂や打継ぎの注入接着補修

特徴

高い充填性と接着性	基礎内部の亀裂や打継ぎに対し、交差する注入孔を穿孔し、エポキシ接着剤を直接高圧注入するため、損傷部へエポキシ樹脂を完全に充填することができます。また、注入孔内に補強筋を併設する事により、より強固に接着一体化することができます。
多様な環境に適した接着剤	低粘度で可使用時間の長い施工性に優れたエポキシ接着剤をベースとする、水中接着タイプ・油面接着タイプ・高含浸タイプ・高粘度タイプ・耐熱タイプ・弾性タイプなどがあり状況に応じた最適な接着剤を選定することができます。
状況に応じた工法を選択	PC鋼棒併設の高圧注入工法から注入プラグを用いる簡便な注入工法まで損傷状況に適應する工法を選択することができます。

製品特徴



施工事例

【①回転機械装置基礎貫通亀裂と打継ぎ補修】

基礎コンクリートに生じた貫通亀裂と打継ぎ部の分離により、振動値が許容値を超え運転不能となった装置の振動を低減するための接着一体化工事です。

(施工手順)

- ①貫通亀裂と打継ぎ部に交差する注入孔
φ50mm×L2800×40 本削孔
- ②補強筋 D26PC 鋼棒に注入・エア抜き銅管設置
- ③孔上部をエポキシによりシール
- ④油面接着用アルファテック 370 圧力注入
- ⑤コールドジョイントからのエポキシ連続流出による内部充填確認



φ50×L2800 注入孔削孔



コンプレッサ基礎貫通亀裂と打継ぎよりアルファテック 370 流出

【②回転機械装置の台板補修】

セメントグラウトの中性化による台板の錆上りが生じたスチームタービン発電機のエポキシ注入補修です。間隙への樹脂注入により空気等を遮蔽し、台座の錆進行を防止します。

(施工手順)

- ①注入孔削孔
- ②同注入ニップル固定
- ③アルファテック 300 圧力注入
- ④同硬化養生



アルファテック 300 圧力注入



台板とグラウト内からアルファテック 300 連続流出